

## 北里大学東洋医学総合研究所 鍼灸医学研修プログラム概要

### 1. 名 称

学校法人北里研究所 北里大学東洋医学総合研究所 鍼灸医学研修プログラム

### 2. プログラムの目的

北里大学東洋医学総合研究所における鍼灸診療を研修する。診断技術ならびに治療技術や診療技術を学ぶ。

鍼灸研修では鍼灸患者の異常を的確に判断できる脈診や切経などの診断技術を学び、取穴や鍼の刺入方法などの実践的治療技術を学ぶだけでなく、多様な疾患に対する医学的知識、対処方法、患者とのコミュニケーションの取り方など診療技術も研修する。また伝統的な鍼灸医療をより深く理解するため国内・中国などの鍼灸関連テキストや古典に親しみ、同時に国外の論文より世界における鍼灸の動向や現代医療にも触れながら、国際的な広い視野を持った鍼灸師を養成する。

### 3. プログラム内容

月曜日から土曜日（午前）までの鍼灸診療を全日出席する研修を鍼灸師レジデントコースとし、週のうち指定された1日から数日を出席する研修を鍼灸師研修生コース及び医師鍼灸研修生コースとする。

#### (1) 鍼灸師レジデントコース（※2021年度レジデントコースの採用はございません）

1年目は主に診療補助と臨床研修。2年目は1年目の研修内容を評価し、合格したものは研修と同時に外来での鍼治療にも従事する。

また、診療助手を行いながら年間のカリキュラムに沿った鍼灸臨床研修と目標達成度を評価するため試験を行う。さらに毎週金曜日夜の症例検討会、鍼灸古典勉強会・英論文抄録会など勉強会参加、漢方診療部と臨床研究部との合同リサーチカンファレンス等の出席は義務とする。

その他学会発表・研究等の研修も行う。

#### (2) 鍼灸師研修生コース

指導医・鍼灸師のもとに診療補助を行いながら、鍼灸診療の基本的技術を習得すると同時に、西洋医学の臨床および基礎の知識と技術の習得を合せて研修する。

研修日は、月曜日か木曜日か金曜日の午前（8:30～13:00）。但し祭日等を除く。さらに毎週金曜日夜（18:30～20:00）の鍼灸師医師合同勉強会参加（疾患別鍼灸治療解説・鍼灸古典抄読・鍼灸診断治療実習・英論文抄読）は義務とする。

#### (3) 医師鍼灸研修生コース

指導医のもとに診療補助を行いながら、鍼灸医学の基礎および臨床の知識と診療の基本的技術を研修する。治療方法とは北里方式経絡治療による鍼灸治療。

研修日は、毎週金曜日 午後（ただし祭日を除く）。第1・2・3週；鍼灸外

来実習、第4週；鍼灸講義。毎週金曜日夜（18:00-18:30）新患検討会毎週金曜日夜（18:30-20:00）鍼灸師医師合同勉強会（疾患別鍼灸治療解説・鍼灸古典抄読・鍼灸診断治療実習・英論文抄読）の出席は、原則的に義務となります（ただし祭日を除く）。

#### 4. 教育体制

(1) 教育責任者 小田口 浩 (所長)

(2) 指導者リスト

・伊藤 剛 (北里大学客員教授)

・伊東 秀憲 (鍼灸診療部)

#### 5. 研修期間

当プログラムの研修年限は鍼灸師レジデントコースは原則2年間、鍼灸師研修生コースは原則1年間、医師鍼灸研修生コースは原則2年間とする。

#### 6. プログラム管理体制

(1) 鍼灸医学研修に関する教育委員会の構成と運営方法

鍼灸診療部責任者と各教育指導者により構成される。

1名の教育委員長が置かれ、教育委員会の司会進行をつとめる。

検討項目は、鍼灸研修全般にわたるが定期的に研修生評価や指導者評価も行い、プログラム内容の改善も適宜に検討する。

(2) 研修生の就業規定、顕彰、処罰規定

鍼灸医学研修プログラムの修了年限は別途定めてあるが、研修生の就業規定は、別途定める。学校法人北里研究所就業規則及び北里大学東洋医学総合研究所研修生取扱規定及び鍼灸診療部教育研修生内規に準ずる。これらに照らして著しく言動等に問題のある場合、研修意欲が著しく低下したと判断された場合は、教育委員会の上申に基づき北里大学東洋医学総合研究所（以下：東医研）運営会議で審議の上、戒告や処罰が行われる。

(3) 研修生採用方法

鍼灸医学研修プログラム応募要領を参照のこと。

(4) 研修資格

1) 鍼灸師レジデントコース及び鍼灸師研修生コース

はり師、きゅう師の両免許を取得した者。

鍼灸診療のみならず、医学全般に対する研修意欲があること。

2) 医師鍼灸研修生コース

日本国の医師免許を取得した者。

#### 7. 研修生定員

鍼灸師レジデントコース：各年度の状況により適宜定め、最大2名。

鍼灸師研修生コース：各年度の状況により適宜定め、最大10名。

医師鍼灸研修生コース：各年度の状況により適宜定める。

#### 8. 研修生評価

鍼灸師レジデントコースでは鍼灸医学研修カリキュラムに沿って適宜到達目標の到達度を自己評価し、指導医等の評価も受けた後、半年毎に評価表を教育委員会に提出する。評価にあたっては、カリキュラムの達成度のみならず、症例提示や問題解決能力、病歴要約能力なども勘案され、研修態度や協調性、責任感・誠実性なども評価の対象となる。鍼灸師研修生コース及び医師鍼灸研修生コースでは、診療研修プランに沿って研修した後評価を行う。また、勉強会の出席状況も評価の対象とする。

#### 9. プログラム修了の認定

規定プログラムを修了した者については、上記研修評価記録を踏まえ、当初の到達目標に至ったか否かを教育委員会で討議し、最終的な修了認定を行う。

#### 10. 研修の途中での中断に伴う研修証明書について

本人の事情により研修の途中で中断をされた場合、本人が研修証明書の発行を希望すれば発行する。

#### 11. 処 遇（給与・研修費）

鍼灸師レジデントコース

：学校法人北里研究所 嘱託職員給与規程により有給とする。

鍼灸師研修生コース及び医師鍼灸研修生コース

：教育研修プログラム申し合せ事項に定めてある、研修費を徴収する。

以上